

令和5年度 第4回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月9日（金） 13時00から15時15分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小倉 端、笹竹 和行、河島 秀夫、中谷 勲、小澤 房世
岡部 かおり、関島 貴浩、實森 浜代
- 4 欠席委員 伊藤 孝師
- 5 オブザーバー 新出 丈士(光明ふれあいセンター所長)
- 6 学 校 中野 主税(校長)、内山 佳乃(教頭)、土屋 淳心(担当教員)
横山 貴美恵(CSディレクター)
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵

9 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、教頭から岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価（いじめ防止基本方針を含む）
- (2) 学校運営協議会自己評価
- (3) 令和6年度学校運営基本方針の概要
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告
- (5) 学習支援ボランティアの報告

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価（いじめ防止基本方針を含む）

土屋より、学校関係者評価およびいじめ防止基本方針に基づいたアンケート結果について、資料(4～6枚目)を用いて説明があり、委員から以下のような発議があった。

- ・児童に割り当てられた個人のタブレット端末でアンケートができるのか。他の子が見ることはないか。（会長）
→個人に割り当てられた端末でアンケートをとるため、誰の回答か教員は確認できる。
子供が他の子のアンケートを見ることはない。（教頭）
- ・アンケートの集計はどのようにしているのか。（会長）
→アンケートを取るところから集計するまで一貫したシステムになっている。（土屋）
→以前は学校ごとにいじめ認知、いじめ把握、いじめ対応の取り組みがそれぞれであったため、それを不安に思う保護者もあった。現在は、浜松全体で同じシステムを活用して取り組む仕組みになっている。（校長）

(2) 学校運営協議会自己評価

教頭より、学校運営協議会自己評価について、資料(9枚目)と別紙(水色)を用いて説明があり、本日の授業参観も含め、委員から以下のような発議があった。

- ・今年度は新しい方(講話ボランティア)を招くことができた。課題としては、3年任期でやっていくことだが、次の方がいないと引継ぎが難しく、どこかで(1年)重なるか、2年で募集をかけるかなど、引継ぎがスムーズにいくルールを決めた方がよい。今年度は昨年度よりも充実したボランティア活動ができた。会長と密に連絡を取れたのもよい。(関島委員)
- ・学校支援コーディネーター(以降「CD」と記述)は任期3年、最大6年でよいか。(会長)
 - 本校の場合は、委員を兼任しているため委員の任期と同様である。委員の任期は3年、再任は1回までとなるため、最大任期は6年となる。(教頭)
- ・ボランティアの中から、運営委員に関わって頂けるよう声をかけるのはどうか。親の目から見た意見が協議会の場であると、よりよい。保護者は、委員の任期が3年だと参加しづらいかもしれないため、任期1年でもいいのでは。(小澤委員)
- ・ボランティアの集計(参加人数)等、先生の負担が増えているように思えるので、それをCDがやるといいのでは。(関島委員)
- ・来年度は、当て直としてのPTA会長を委員としての指名はしない。保護者からの委員発掘をしたい。(校長)
- ・学校からのCS活動の発信はどのようか。(岡部委員)
 - 日々の学校の様子は、ブログ等で発信していたが、学校運営協議会等については発信していない。(教頭)
 - 来年度は、地域に向けたCS便りを回覧板レベルで作成していければと思う。CSディレクターが作成する予定。(校長)
- ・さくら通信でCS活動のボランティアを募集し、ふれあいセンターでも募集をかけていることもあり、間接的にCSが地域に認知されているので、よい成果だと思う。(会長)

(3) 令和6年度学校運営基本方針の概要

校長より、令和6年度学校運営基本方針の概要について、資料(7枚目)を用いて説明があり、委員から以下のような発議があった。

- ・「キャリアパスポート」や「エンカウンター」、「ドリルパーク」の言葉は、内々の言葉のようなので、外に向けて発信するには違う言葉の方が伝わりやすいのでは。(岡部委員)
- ・「エンカウンター」とは。(小澤委員)
 - 仲間作りの際、ゲーム的な感じで取り組む活動。(教頭)
- ・「にこにこ」「わくわく」「ぐんぐん」は、指導の中で、普段よく使っている言葉か。キャッチフレーズばかりになると分かりにくい。(岡部委員)
 - 指導の中では、あまり使っていない。(土屋)
- ・先生が分かりやすいのも大事だが、子供達に指導するとき「わくわく～」等を使って指導することはないと思う。(河島委員)

協議の結果、一部の表記を変えることで、全員異議なくこれを承認した。

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭より、今年度の夢育やらまいかCS加算分の報告について、資料(8枚目)を用いて報告があり、委員から以下のような発議があった。

- ・経費は、学校規模か指導数(活動数)により割り当てられているのか。(河島委員)
→学校規模で割り当てられている。(教頭)

(5) 学習支援ボランティアの報告

土屋より、今年度の学習支援ボランティアについて、資料(10~12枚目)を用いて報告があり、委員から以下のような発議があった。

- ・ボランティア活動により、人が人を呼ぶような活動になるといい。(岡部委員)
- ・図書室で、戦争のコーナーがあるが、戦争はよくないことを子供たちに伝えたい。(河島委員)
- ・劇をやる時に、大勢の前で声を出せない子がいるが、みんなの前にでるのが苦手な子は、衣装を作ったり、大道具を作ったり、いろんな役割がある。行事の中で、様々な役があるので、みんなが活躍できるとよい。(河島委員)

その他連絡事項等

司会の教頭から、次回会議は、令和6年4月24日(水)13時から1階会議室で開催する旨の連絡があった。

司会の教頭から、卒業式は、令和6年3月18日(月)9時開式の旨の連絡があった。